



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 中国塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4617 URL <https://www.cmp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 小林 克徳

TEL 03-3506-3951

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,245	8.9	450		149		461	
2022年3月期第1四半期	19,506	0.5	817	48.8	1,069	41.4	822	19.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,136百万円 (55.4%) 2022年3月期第1四半期 2,549百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.95	
2022年3月期第1四半期	15.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	108,243	60,007	50.8	1,088.79
2022年3月期	104,618	60,039	52.9	1,089.33

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 54,956百万円 2022年3月期 55,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		18.00	35.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		17.00		18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	1.5	500	27.3	800	21.0	300	16.6	5.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	62,000,000 株	2022年3月期	62,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	11,525,593 株	2022年3月期	11,242,693 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	51,534,325 株	2022年3月期1Q	53,746,307 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績としましては、主力の船舶用塗料分野において、新造船向けでは、主に国内において出荷量が増加したことや原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったこと等により、全体として売上高が増加しました。修繕船向けにおいても、一定の需要が継続する中、販売価格の見直しや積極的な営業活動を推進したことから、堅調に推移しました。工業用塗料分野では、国内における建材用塗料や東南アジアにおける重防食塗料が堅調に推移したこと等により、売上高が増加しました。コンテナ用塗料分野では、価格競争の激化により低採算案件の受注抑制を行ったことから、販売が落ち込みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は21,245百万円（前年同期比8.9%増）となりました。利益面については、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しや各種経費の削減に努めたものの、調達コスト増をカバーできず原価率が上昇したことから、営業損失は450百万円（前年同期は営業利益817百万円）、経常損失は149百万円（前年同期は経常利益1,069百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は461百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益822百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

船舶用塗料において、新造船向けの需要の回復に加え、原材料価格高騰を受けて新造船及び修繕船向けの販売価格の見直しを行ったこと等により、売上高が増加した他、工業用塗料においても、建材用塗料の販売が堅調に推移したことから、売上高は8,952百万円（前年同期比13.0%増）となりました。一方、損益面では、主要原材料価格の高騰による調達コストの上昇から、セグメント損失は、前年同期に比べ618百万円減益の479百万円（前年同期はセグメント利益139百万円）となりました。

② 中国

船舶用塗料において、修繕船向けを中心に、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことや、円安となった為替の影響も加わり、売上高が増加したものの、工業用塗料においては、需要が低調に推移し、コンテナ用塗料においても、価格競争の激化により低採算案件の受注抑制を行ったことから、販売が落ち込み、売上高は2,910百万円（同10.1%減）となりました。一方、損益面では、主要原材料価格の高騰による調達コストの上昇から、セグメント損失は、前年同期に比べ241百万円減益の364百万円（前年同期はセグメント損失123百万円）となりました。

③ 韓国

船舶用塗料において、造船所における工程遅延の発生により、主力の新造船向けの販売が低調に推移したことから、売上高は1,413百万円（同21.7%減）となりました。一方、損益面では、主要原材料価格の上昇による調達コストの上昇から、セグメント損失は、前年同期に比べ108百万円減益の229百万円（前年同期はセグメント損失121百万円）となりました。

④ 東南アジア

修繕船向けを中心とした船舶用塗料や重防食塗料において、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことや、円安となった為替の影響も加わり、売上高は3,139百万円（同10.3%増）となりました。一方、損益面では、原価率の上昇等により、セグメント利益は、前年同期に比べ107百万円減益の350百万円（同23.4%減）となりました。

⑤ 欧州・米国

船舶用塗料において、堅調な需要が継続する中、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことや高付加価値製品の拡販に注力したことから、主に修繕船向けの販売が伸長し、売上高は4,829百万円（同30.5%増）となりました。一方、損益面では、原価率の上昇等により、セグメント利益は、前年同期に比べ20百万円減益の134百万円（同13.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ、4,036百万円増加の75,531百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（1,478百万円）や現金及び預金の増加（1,106百万円）であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、411百万円減少の32,712百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少（995百万円）や有形固定資産の増加（595百万円）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ3,625百万円増加し、108,243百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ、3,744百万円増加の38,438百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加(2,748百万円)や電子記録債務の増加(483百万円)であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、86百万円減少の9,798百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の減少(228百万円)や退職給付に係る負債の増加(105百万円)であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ3,657百万円増加し、48,236百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、32百万円減少の60,007百万円となりました。主な要因は、配当等による利益剰余金の減少(1,374百万円)やその他有価証券評価差額金の減少(691百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,997百万円)であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.9%から50.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は18,132百万円と前連結会計年度末に比べ984百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、760百万円となりました。主な増加は、減価償却費387百万円、仕入債務の増減額183百万円であり、主な減少は、税金等調整前四半期純損失181百万円、売上債権の増減額710百万円、棚卸資産の増減額647百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、239百万円となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入1,541百万円であり、主な減少は、定期預金の預入による支出1,495百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、1,099百万円となりました。主な増加は、短期借入金の純増額2,297百万円、主な減少は、非支配株主への支払いを含めた配当金の支払額884百万円です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,096	21,202
受取手形及び売掛金	27,104	28,583
電子記録債権	1,771	1,965
商品及び製品	11,075	12,034
仕掛品	599	675
原材料及び貯蔵品	8,930	9,445
その他	2,408	2,136
貸倒引当金	△492	△513
流動資産合計	71,495	75,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,066	5,173
機械装置及び運搬具(純額)	3,312	3,507
土地	13,068	13,109
その他(純額)	2,606	2,860
有形固定資産合計	24,054	24,649
無形固定資産	359	337
投資その他の資産		
投資有価証券	7,731	6,735
退職給付に係る資産	178	181
繰延税金資産	334	336
その他	1,803	1,905
貸倒引当金	△1,339	△1,433
投資その他の資産合計	8,708	7,724
固定資産合計	33,123	32,712
資産合計	104,618	108,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,333	10,425
電子記録債務	1,393	1,876
短期借入金	16,995	19,743
1年内返済予定の長期借入金	2	-
未払金	2,242	2,597
未払法人税等	415	461
賞与引当金	102	186
製品保証引当金	165	165
その他	3,043	2,981
流動負債合計	34,694	38,438
固定負債		
長期借入金	2,734	2,737
長期末払金	89	89
繰延税金負債	2,007	1,778
再評価に係る繰延税金負債	2,223	2,223
退職給付に係る負債	1,850	1,955
その他	978	1,013
固定負債合計	9,884	9,798
負債合計	44,578	48,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	1,504	1,504
利益剰余金	44,244	42,869
自己株式	△10,006	△10,268
株主資本合計	47,367	45,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,123	2,431
土地再評価差額金	3,798	3,798
為替換算調整勘定	932	2,929
退職給付に係る調整累計額	68	63
その他の包括利益累計額合計	7,923	9,224
非支配株主持分	4,748	5,051
純資産合計	60,039	60,007
負債純資産合計	104,618	108,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,506	21,245
売上原価	14,156	16,781
売上総利益	5,349	4,464
販売費及び一般管理費	4,532	4,914
営業利益又は営業損失(△)	817	△450
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	94	190
受取ロイヤリティー	25	29
技術指導料	16	13
為替差益	114	101
その他	96	63
営業外収益合計	370	418
営業外費用		
支払利息	85	94
その他	32	22
営業外費用合計	118	117
経常利益又は経常損失(△)	1,069	△149
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	277	21
会員権売却益	-	0
特別利益合計	278	21
特別損失		
固定資産売却損	-	0
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	53
特別損失合計	-	53
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,348	△181
法人税、住民税及び事業税	290	204
法人税等調整額	126	75
法人税等合計	416	280
四半期純利益又は四半期純損失(△)	931	△461
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	108	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	822	△461

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	931	△461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△691
為替換算調整勘定	1,791	2,294
退職給付に係る調整額	△73	△4
その他の包括利益合計	1,618	1,598
四半期包括利益	2,549	1,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,290	840
非支配株主に係る四半期包括利益	258	296

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,348	△181
減価償却費	504	387
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	3
その他の引当金の増減額(△は減少)	50	71
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	4	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	20
受取利息及び受取配当金	△117	△210
支払利息	85	94
為替差損益(△は益)	△45	△15
投資有価証券売却損益(△は益)	△277	△21
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,353	△710
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,480	△647
未払又は未収消費税等の増減額	△151	74
仕入債務の増減額(△は減少)	703	183
その他	△348	202
小計	1,640	△747
利息及び配当金の受取額	117	210
利息の支払額	△83	△90
法人税等の支払額	△639	△131
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,034	△760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,986	△1,495
定期預金の払戻による収入	1,503	1,541
短期貸付金の純増減額(△は増加)	4	0
固定資産の取得による支出	△191	△308
固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△2	△0
投資有価証券の売却による収入	383	25
その他	△8	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15	2,297
長期借入金の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△1,879	△261
配当金の支払額	△900	△884
非支配株主への配当金の支払額	△41	△0
その他	△50	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,889	1,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,041	884
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,110	984
現金及び現金同等物の期首残高	21,920	17,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,809	18,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式282,900株の取得を行いました。この影響により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が261百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が10,268百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	7,920	3,237	1,803	2,845	3,699	19,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	947	1,724	594	733	167	4,167
計	8,867	4,961	2,397	3,579	3,867	23,674
セグメント利益又は 損失(△)	139	△123	△121	457	155	507

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	507
セグメント間取引消去	593
全社費用(注)	△283
四半期連結損益計算書の営業利益	817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	8,952	2,910	1,413	3,139	4,829	21,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,535	1,413	770	989	208	4,917
計	10,488	4,324	2,183	4,128	5,037	26,163
セグメント利益又は 損失(△)	△479	△364	△229	350	134	△588

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	△588
セグメント間取引消去	425
全社費用(注)	△288
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

販売実績

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	6,386	2,255	1,771	1,606	3,605	15,625
工業用塗料	1,447	279	31	1,100	64	2,924
コンテナ用塗料	—	702	—	138	29	870
その他	86	—	—	—	—	86
計	7,920	3,237	1,803	2,845	3,699	19,506

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	7,416	2,445	1,387	1,659	4,689	17,598
工業用塗料	1,452	174	25	1,240	100	2,993
コンテナ用塗料	—	290	—	239	39	569
その他	83	—	—	—	—	83
計	8,952	2,910	1,413	3,139	4,829	21,245